今後の為替相場を大胆予測

今井　雅人

今後2－3か月の相場環境

・各国の金融政策が停滞した状態が今後数か月続く

・方向感が出づらいが、結局最終的には金利差が効いてくる

年末にかけての相場

- クロス円での円安続く

  ユーロ円　165円、ポンド円　190円、豪ドル円　98円、メキシコペソ円　9円

- 問題は、日本政府がどうでるか？？

FOMCのポイント

-FRB声明文抜粋-

「委員会は金融政策の度重なる引き締め、金融政策が経済活動とインフレ率に及ぼす影響の遅れ、および経済と金融の動向を考慮する。」

・この意味は、当面様子をみて、これまでの引き締めの効果を確認する

➡つまり、年内は利上げはしない。

パウエルFRB議長発言

１１月９日

「政策をさらに引き締めることが適切となれば、躊躇することなく引き締める」

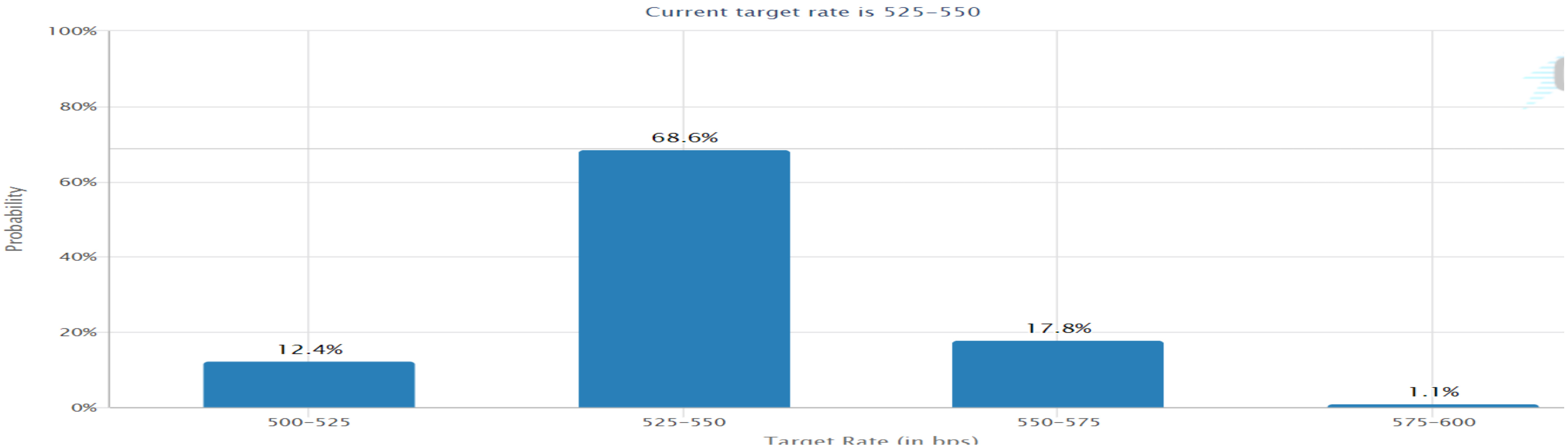
FRBの本音

今のところ、追加の利上げをするつもりはない。
できればしたくない。

だが、インフレがこれで収まるか自信がない。

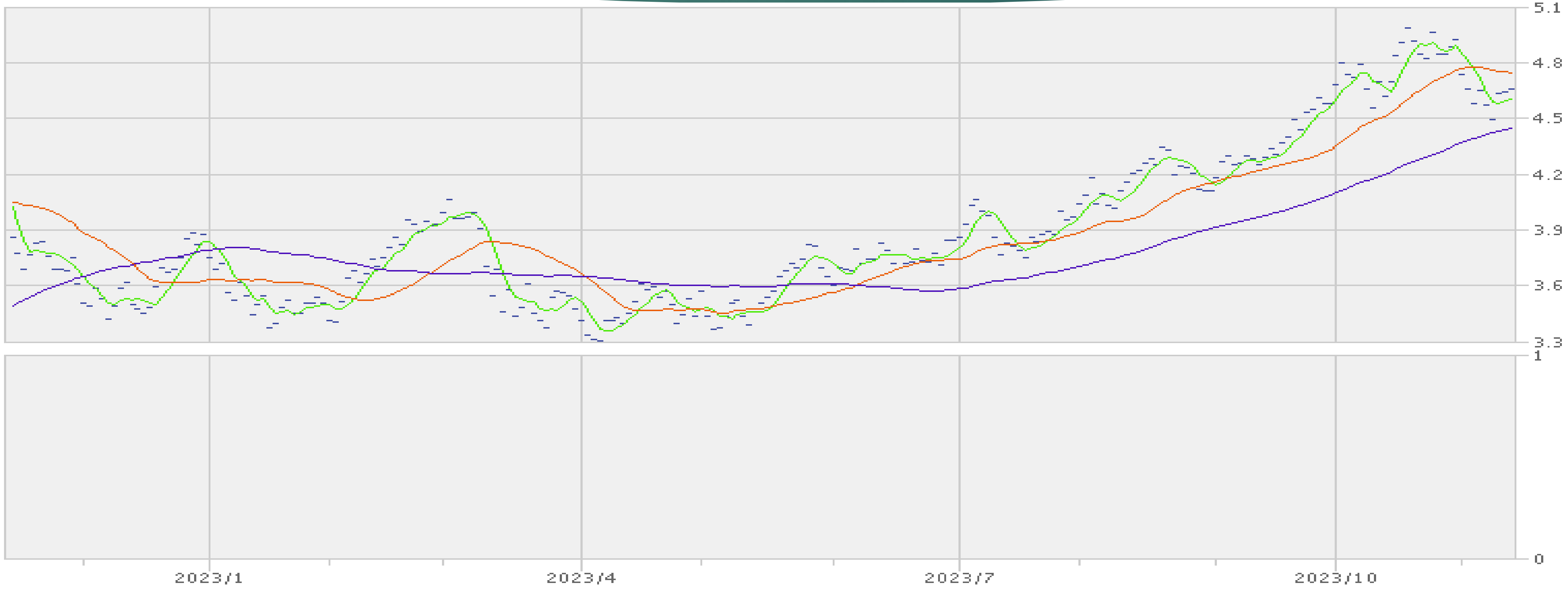
インフレが長期化するのがFRBにとっては最も悪い状況
だから、常にマーケットに先走ってほしくない。

マーケットの見方は分かれる



- （出典：CME）

アメリカ国債１０年＜日足1年＞



- （出典：楽天証券）

アメリカ国債１０年＜月足10年＞

（出典：楽天証券）

日銀の政策変更

■７月

YCC　０％ ±０．５％の幅に拡大

上限を１％とする

■１０月

YCC　０％ ±０．５％の幅を撤廃

その代わり、上限１％を目途とする

金融政策決定会合における主な意見（2023年10月30、31日開催分）

●現時点では、「物価安定の目標」の持続的・安定的な実現を十分 な確度をもって見通せる状況には至っておらず、YCCのもとで、粘り強く金融緩和を継続する必要がある。

●内外の経済や金融市場を巡る不確実性がきわめて高い中、今後 の情勢変化に応じて、金融市場で円滑な長期金利形成が行われるよう、YCCの運用において、柔軟性を高めておくことが適当である。

●賃金と物価の好循環を通じた２%目標の達成には未だ距離があるため、金融緩和の継続を通じて賃上げのモメンタムを支え続 けることが重要である。こうした状況では、YCCは運用を修正しつつも、枠組みとしては維持すべ きである。

● 米国における長期金利上昇の影響を受けて、わが国の長期金利に想定外の上昇圧力がかかっている。粘り強く金融緩和を継続していく必要がある中、こうした状況を踏まえると、YCCの運用のさらなる柔軟化が望ましい。

●最近の物価指標や春季労使交渉に向けた経営者の発言等を踏まえれば、２%の「物価安定の目標」の持続的・安定的な実現の 確度は、７月の会合時点と比べ一段と高まっていると考えられる。このため、最大限の金融緩和から、少しずつ調整していくことが必要である。

（出典：日本銀行）

金融政策決定会合における主な意見（2023年10月30、31日開催分）

●昨年 12 月以降YCCの程度を少しずつ弱めてきているが、予想インフレ率が上昇し、実質金利が非常に低い中、緩和効果は十分保たれている。この段階での緩和 効果と副作用のバランスとしては、今回柔軟化する運用が適切 である。

●名目長期金利の若干の上振れが起きても、実質長期金利はマイ ナス圏にとどまり、緩和効果は強いままと見込まれる。他方、 連続指値オペにより名目長期金利を厳格に抑制し続ける場合、 市場機能や市場のボラティリティの面で大きな副作用が発生するリスクは高くなっている。

●今回のYCCの柔軟化は、投機的な動きを生じにくくすることにより、イールドカーブ・コントロールの耐性向上に繋がる。

●７月に決定したYCCの運用柔軟化以 降、債券市場の機能度は改善してきたが、足もとでは物価上昇 により投資家の金利目線が高まっていることから長期の資金調達に影響がみられ始めている。また、長期金利の厳格なコントロールによって、ヘッジ取引が困難化するなどの副作用は避ける必要がある。

●YCCの柔軟化に当たっては、金利の急激な変動を避けつつも、できるだけ市場に金利形成を委ね、 流動性の確保・回復を図ることが重要である。

●YCCの柔軟化は、出口までの間、副 作用の発現を抑制し、金融緩和を効果的に継続するため、そして、将来の出口以降は、金融緩和を維持しつつ、円滑に金融正常化を進める上でも、大きくプラスである。

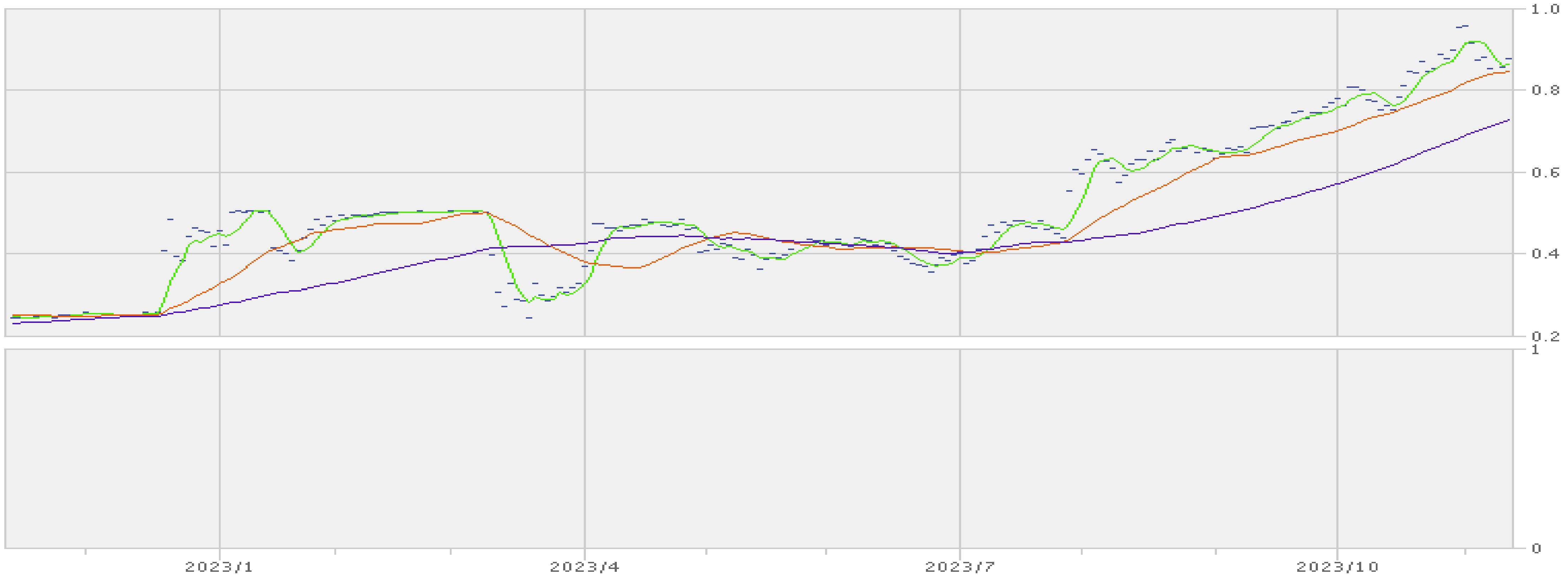
（出典：日本銀行）

日銀の本音

● 政府が賃金が上昇を最大の目標としている以上、政策金利をいじることはできない。

● 長期金利のところは、多少マーケットの上昇圧力を容認していっても構わない。

日本国債１０年＜日足1年＞



（出典：楽天証券）

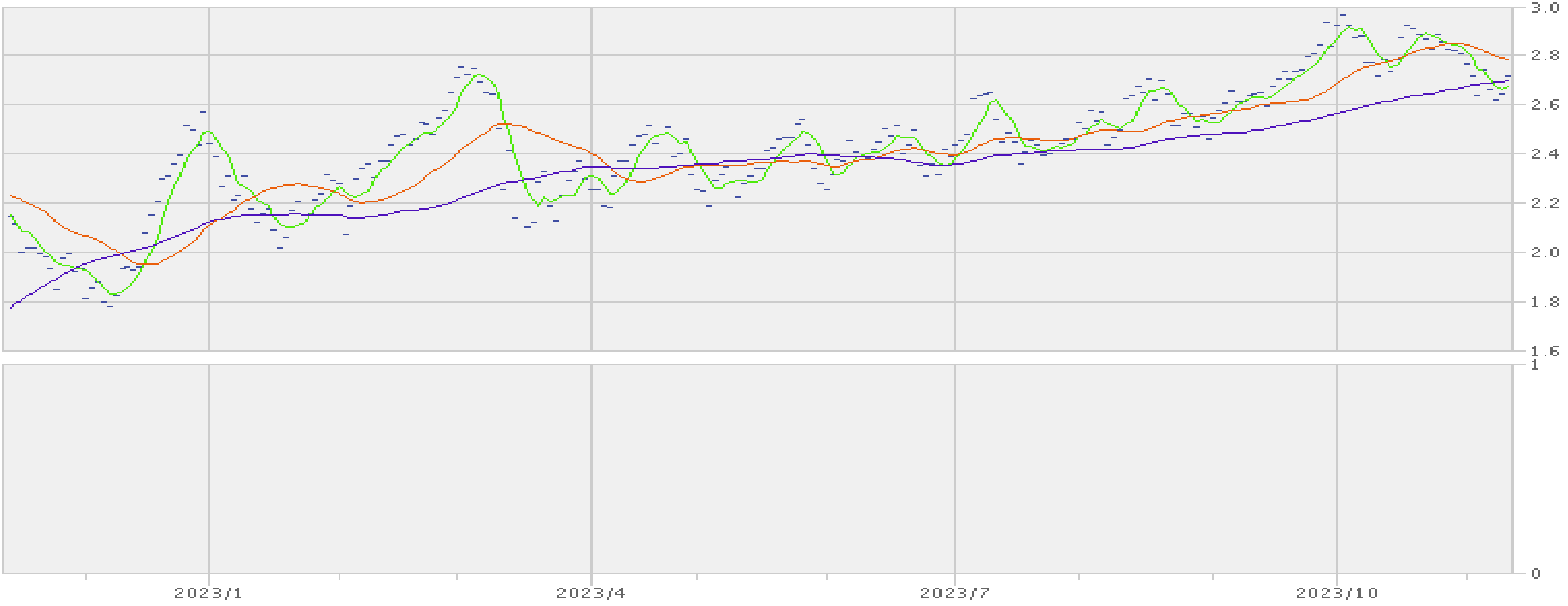
ECBは今後金利据え置き期間続く

欧州中央銀行（ECB）のラガルド総裁

ECBは現在の政策金利を「十分に長い間維持する」ことでインフレが沈静化し、物価2%目標の達成につながると判断している「『十分に長い間』とは十分に長い間であり、今後数四半期で変化が見られるようなものではない」

当面の政策判断は「データ次第」としつつ、早期の利下げ転換に否定的な見方を示した。

ユーロ債１０年＜日足1年＞



（出典：楽天証券）

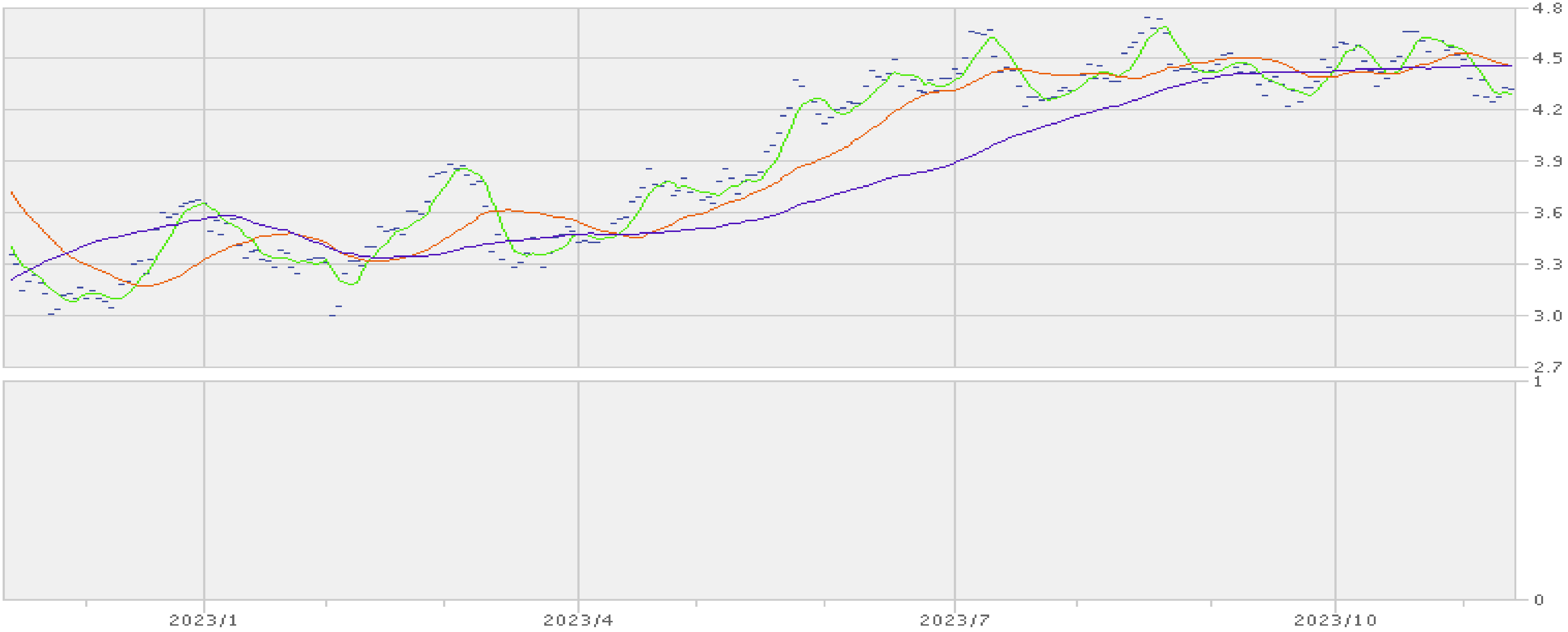
イギリスはアメリカと同じスタンス

金融政策委員会（ＭＰＣ）声明

「最新の予測からみて、金融政策は長期にわたり制約的な必要がある。インフレ圧力がさらに持続する証拠があれば一段の引き締めが必要になる」とした。

ベイリー総裁　「インフレ率が２%の目標まで低下し続けることを確認する必要がある。今月は金利を据え置いたが、さらなる利上げが必要かどうか注視していく。利下げを考えるのは時期尚早だ」「はっきりさせておきたいのは、自己満足に浸る余地は全くないということだ。インフレ率は高すぎる。２%目標まで確実に戻すために、十分な期間、金利を高く維持するつもりだ」

イギリス国債１０年＜日足1年＞



（出典：楽天証券）

オーストラリアは利上げ後、金利低下

豪中銀のブロック総裁

「インフレ率を目標に押し下げるのに一段と確信できるようになるには、利上げが適切であると判断した」

「適切な期間内にインフレ率を目標に確実に回帰させるため金融政策のさらなる引き締めが必要かどうかは、データやリスクを巡る評価に左右される」

メキシコは早期利下げ観測後退

メキシコの国立統計地理情報院（INEGI）

8月のインフレ率は、4.64%と2カ月連続で5%を下回った。

メキシコ中銀が公表した資料

2023年末時点の（農畜産物とエネルギー価格を除く）コアインフレ率の予測を5.3%と前回の5.1%から上方修正した。

ご注意事項

本資料は、勉強会の為に作成されたものであり、有価証券の取引、その他の取引の勧誘を目的としたものではありません。

投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようにお願いいたします。

本資料及び資料にある情報をいかなる目的で使用される場合におきましても、お客様の判断と責任において使用されるものであり、本資料及び資料にある情報の使用による結果について、当社は何らの責任を負うものではありません。

本資料で記載しております価格、数値、金利等は概算値または予測値であり、諸情勢により変化し、実際とは異なることがございます。

また、本資料は将来の結果をお約束するものではなく、お取引をなさる際に実際に用いられる価格または数値を表すものでもございませんので、予めご了承くださいますようお願いいたします。

外国為替証拠金取引（FX）のリスクと費用等について

外国為替証拠金取引(FX)の取引にかかるリスク

外国為替証拠金取引（FX）は、取引通貨の価格変動や、スワップポイントの支払いにより、損失が生じるおそれがあります。

また、外国為替証拠金取引（FX）は少額の証拠金で、その差し入れた証拠金を上回る金額の取引をおこなうことができるため、大きな損失が発生する可能性があります。また、その損失額は差し入れた証拠金を上回るおそれがあります。

外国為替証拠金取引（FX）の取引にかかる費用等

外国為替証拠金取引（FX）の取引手数料は無料です。なお、取引にあたっては各通貨の売付価格と買付価格には差（スプレッド）があります。

スプレッドは通貨ペアごとに異なります。

証拠金について

〔楽天FX口座〕レバレッジコースに応じて取引金額の4%～100%(最大レバレッジ25倍)の証拠金が必要となります。

(法人のお客様の場合は、取引金額に当社が定める証拠金率(*)を乗じた金額以上の証拠金が必要となります。)

〔楽天MT4口座〕想定元本の4%以上の証拠金が必要となります。(法人のお客様の場合は、想定元本に当社が定める証拠金率(*)を乗じた金額以上の証拠金が必要となります。)

*当社は、金融先物取引業協会が算出した「為替リスク想定比率」以上となる証拠金率を通貨ペアごとに定めております。

「為替リスク想定比率」とは、金融商品取引業等に関する内閣府令第117条第27項第1号に規定される定量的計算モデルを使い算出されるものです。

スプレッドについて【（例外あり）について】

通常時は広告表示のスプレッドでお取引いただいておりますが、為替市場における取引高の低下又は売買が一方向に集中しているなどの状況においてはスプレッドが広がる場合があります。

また、広告表示の値は実際の取引時のスプレッドを保証するものではなく、お客様の約定結果による実質的なスプレッドが広告表示の値と合致しない場合がありますのでご注意ください。

なお、スプレッドの拡大は、以下のような状況において発生する場合があります。

■平日早朝時（概ね6時30分～7時30分※サマータイム期間中は一時間繰り上がります）■国内外の金融市場休場日（海外のクリスマス休暇や年末年始など）

■主要経済指標の発表前後■震災などの天変地異や政変又は金融・経済関連の重大な出来事などの突発事象の発生時

商号等：楽天証券株式会社／金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第195号、商品先物取引業者
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

店頭CFD取引にかかるリスクと費用等について

CFD取引にかかるリスク

CFD取引は、お取引の対象となる銘柄の価格変動、金利相当額、配当相当額、価格調整額の支払い、各国の経済、社会情勢、金融政策、金融指標等の変動により損失が生じるおそれがあり、投資元本が保証されたものではありません。

また、CFD取引は差し入れた証拠金を上回る金額の取引をおこなうことができるため大きな損失が発生する可能性があり、その損失額は差し入れた証拠金を上回るおそれがあります。

CFD取引にかかる費用等

CFD取引の取引手数料は無料です。なお、取引にあたっては各銘柄の売付価格と買付価格には差（スプレッド）があります。スプレッドは銘柄ごとに異なります。詳しくは取引説明書等をご確認ください。

証拠金について

株価指数CFDは個人口座、法人口座とも取引の額に対して10%以上、商品CFDは個人口座、法人口座とも取引の額に対して5%以上の証拠金が必要となります。

店頭通貨バイナリーオプション取引にかかるリスクと費用等について

店頭通貨バイナリーオプション取引にかかるリスク

当社の取扱う店頭通貨バイナリーオプションは満期時（判定時刻）に権利が自動行使されるヨーロピアンタイプのオプション取引です。取引対象である通貨の価格変動が予測通りとなった場合には利益が得られることもある反面、予想が外れ権利が消滅した場合、支払ったオプションの購入金額を全額失うこととなります。

また、オプションの購入価格と売却価格には差（スプレッド）があり売却時に損失を被る可能性があります。

店頭通貨バイナリーオプション取引にかかる費用等

店頭通貨バイナリーオプション取引の取引手数料は無料です。

オプションの購入価格について

1枚あたりの最大購入価格は999円です。

商号等：楽天証券株式会社／金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第195号、商品先物取引業者
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会